

東部合同労働組合(前南葛労働組合)

南葛労働組合は渡辺政之助加藤三庄司等の組織
 せし黒色労働会より分離し渡辺加藤等が赤色の
 の労働会を組織したるしを以て前身とし大正十一年
 十一月 鉄工・シヤボシ工・ヤスリ工等の小工場個人経営の
 工場の職工等が三三人宛集りし或立寄時は九十人許の
 の会口員ありし大正十一年の八月八名の会員は虐殺され
 之会員は戦と競とを以て分散し虐殺者の後遺未にし
 身を出す者無り秋能あうしかば出井等奔走して日本
 労働 總同盟に(協同)二鷹接を求め快諾を得て
 漸やく遺族を救済し荒井儀し行り得る始末にし
 南葛 労働としは此の際組合を整理し總同盟